

男性職員の育児休業体験談

秦 拓真さん

(総務部電子自治体推進室)

家族プロフィール

妻、長女(2) 二女(0) 長男(0)
第2子・第3子出産時に1か月の育児休業を取得

育休をとったきっかけを教えてください

- ・双子の出産と長女もまだ小さいことから、育児の人手が足りませんでした
- ・そんな時に室長と総括から育休の取得を提案いただき取得しました

育休の取得希望を伝えた時期や周囲の反応を教えてください

- ・4月に異動した際に双子が産まれることを相談しました
- ・室長と総括から取得を提案いただき、仕事の割り振りも調整いただきました

育休に入る前にどのような準備をしたか教えてください

- ・7月から育休に入ることが決まっていた
- ・それまでに仕事を終わらせるようにスケジュールリングは気をつけました

復帰後、仕事への姿勢や職場の状況に変化はありましたか？

- ・とにかく早く家に帰ることを意識してます
- ・仕事が終わらないときも早く帰って、朝仕事をするようになりました

私生活の面での変化はありましたか？

- ・家族と過ごす時間が増えて充実しています
- ・長女の時は分からなかった妻の苦勞に共感できるようになりました

育休の取得を考えている職員へのメッセージ

- ・子どもと過ごせる時間の7割が幼少期に終わってしまいます
- ・長い時間を子どもと過ごすことができ充実した育休でした



電子自治体推進室では、令和4年中に3名の男性職員がそれぞれ約1か月の育児休業を取得しています。所属長と班総括に職員の育児休業中の職場環境づくりについて、お話をうかがいました。

所属長に聞きました

部下から育休取得の希望を伝えられた時、どのように感じましたか？

子どもは社会の宝。育児、素晴らしい。

男性職員の育休取得により職場に変化がありましたか？

前例もあり、職場に変化というよりも、「育休取得は当然」のような感覚になってきていると感じます。

職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて日頃から心がけていることや取り組まれていることを教えてください。

自ら率先垂範の精神で、年休取得に励み、ライフの充実に努めている。職場全体にその雰囲気広がっていけば。

育休取得率の向上に向けてメッセージをお願いします。

育休取得は特別なことではなくて、当然のこと。育休を取得する本人は遠慮する必要はありません。お互い様の精神で、いつか他の育休取得者をサポートする立場になって、お返しすればよいかと思います。

班総括に聞きました

部下の育児休業期間中の仕事の割り振りはどうしましたか？

班全員の業務スケジュールと業務の親和性を見ながら割り振りを行いました。班内で2名の育休取得がりましたが、ルーチン業務は班員で分担し、突発的な業務は班総括が対応しました。

職員の不在期間の仕事の進め方などで苦勞したこと、工夫したことがあれば教えてください。

育児参加の妨げにならない程度ですが、Logoチャットで連絡を取り、不明な点を確認していました。

男性職員の育休取得による職場での良い変化などがあればおしえてください。

育児参加の大変さや、各自が抱える状況を共有できたことで、仕事にメリハリを付け、残る日は集中し、そうでない日は周りに気兼ねせずに早く帰ることができるようになりました。

男性職員の育児休業体験談

池堂 智信さん

(玖珠家畜保健衛生所)

家族プロフィール

妻 長男(1歳半) 二男(3ヶ月)
第2子出産時に1か月の育児休業を取得

育児をとったきっかけを教えてください

- ・長男がまだ小さく、妻1人では負担が大きかったため
- ・長男が産まれた際に取得出来ず、第二子出産時には取得すると決めていたから

育児の取得希望を伝えた時期や周囲の反応を教えてください

- ・妊娠安定期に入ったころ(R3.10月ごろ)
- ・職場の上司・同僚はみな賛成してくれ、取得時期や期間を協議しました。

育児に入る前にどのような準備をしたか教えてください

- ・担当業務について班内で引き継ぎを行ない、業務内容やファイル保管場所を共有
- ・育児明け後の体制作りのためにしなければいけない事のリスト化(一時保育申込み等)

復帰後、仕事への姿勢や職場の状況に変化はありましたか？

- ・育児の大変さを身にしみて理解したため、業務効率改善に努め、なるべく超勤を減らし早く帰宅できるようにしています。

私生活の面での変化はありましたか？

- ・プライベートな時間が少ないため、妻との2人の時間を特に大切にしています。
- ・妻からの育児に関する相談が第一子時より増えました。

育児の取得を考えている職員へのメッセージ

・育児の大変さを第一子時に理解したつもりだったが、今回第二子が生まれ育児休業を取得して初めて本当に理解できました。育児はその期間だけでなく、復帰後の育児に対する姿勢や考え方・夫婦関係にも大きく関わるため、取得できればするべきだと思います。



所属長と班総括に職員の育児休業中の職場環境づくりについて、お話をうかがいました。

所属長に聞きました

部下から育児取得の希望を伝えられた時、どのように感じましたか？

自分は女性職員で育児休業経験あり。当時このような制度があれば、どんなにありがたかったことか。何がなんでも彼に取らせてあげたいと思いました。

男性職員の育児取得により職場に変化がありましたか？

同じ職場に限らず、本実例を知ることによって若い男性は、自分が結婚した時、子供が生まれた時は育児休業を取得できるのだと、希望をもてると思います。

職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて日頃から心がけていることや取り組まれていることを教えてください。

本職場は、欠員が慢性化し業務に余裕がない。そのような中で、班総括が自ら動き、業務のフォローをしてくれたので、高く評価をし、皆の模範になってもらいます。

育児取得率の向上に向けてメッセージをお願いします。

女性の育児休業が定着したように、父親の育児休業も当たり前の時代がきっと来ます。私のように、かつて自分が育児休業を取得し同僚に助けられた人間が、今度は上司となりフォローできる、そんな職場環境が、いっそう整備されることを期待します。

班総括に聞きました

部下の育児休業期間中の仕事の割り振りはどうしましたか？

既に1名の欠員状態で業務を行っていたことから、仕事を割り振りする事ができず、担当業務をすべて班総括が引き受けました。

職員の不在期間の仕事の進め方などで苦労したこと、工夫したことがあれば教えてください。

育児休業前に、休業中に必要な仕事内容等の引継書を作成してもらい、班内で協議を行って不在期間に備えた結果、特に苦労する事はありませんでした。ちょっと、年齢による肉体疲労があった程度です。

男性職員の育児取得による職場での良い変化などがあればおしえてください。

女性職員が増加する傾向にある職種でもあることから、職場での育児前後による変化は特に認められず、自然に仕事へ復帰しています。